

工 学 概 論 第 3

機械学科参照

工 場 見 学

工 場 実 習

## 航 空 学 科

数学及び数学演習C第1

土木工学科参照

数学及び数学演習C第2

土木工学科参照

力学及び力学演習D第1

機械学科力学及び力学演習A第1参照

力学及び力学演習D第2

機械学科力学及び力学演習A第2参照

数値解析及びプログラミング

化学工学科参照

機械工学通論第1

電気学科機械工学通論参照

電気工学通論A第1

応用化学科参照

電気工学通論A第2

応用化学科参照

金属工学通論第1

機械学科参照

流体力学基礎論

週2時間 2単位

大気の熱力学的特性, 流体力学の基礎方程式, 流管に沿う圧縮性流れの性質

非圧縮性流体力学

週2時間 2単位

非圧縮性流体のポテンシャル流れ, 渦の運動, 二次元翼理論(薄翼理論), 三次元翼理論

粘性流体力学

週2時間 2単位

粘性流体力学の基礎, ナビエ・ストークス方程式の厳密解, 層流境界層, 温度境界層, 遷移, 乱流の基礎, 乱流境界層, 乱流モデル

応用熱力学

週2時間 2単位

熱力学の基礎, 内燃機関概説, 往復動機関の性能 (地上性能, 高空性能)

## 伝熱工学序論

週2時間 2単位

熱移動のモード, 定常・非定常熱伝導, 熱伝達の流体力学, 強制・自然対流による熱伝達, ふく射伝熱法則, ふく射の計算, 航空宇宙への応用

## 原動機要素基礎論

週2時間 2単位

遷音速・超音速空気取入口, 燃焼器とその原理, 燃焼器内で起る諸過程, 性能, ノズル, 翼列, 圧縮機およびタービンの熱空気力学

## エンジン流体力学

週2時間 2単位

音波, 直立及び斜め衝撃波, 膨張波, 等エントロピー流れ, 摩擦・加熱・冷却のある管内流れ, ノズル流, ロケットモーター推力の計算。

〔テキスト〕“Modern Compressible Flow” by J. D. Anderson, McGraw-Hill, 1982.

## 燃焼化学物理

週2時間 2単位

燃焼及び爆発の熱力学, 流体力学, 化学, 輸送現象 (拡散等) 及び分子内エネルギー移動

〔テキスト〕「燃焼工学」大竹, 藤原・「火は語る」疋田

## 宇宙推進システム

週2時間 2単位

化学ロケット, 電気ロケット, ラムジェットの理論, 空力加熱と再突入, ロケットの飛しょう性能, 宇宙推進, 人工衛星や宇宙船の軌道力学

〔テキスト〕「宇宙推進システム」藤原

## 材料力学

週2時間 2単位

応力とひずみ, 棒の引張と圧縮, はりの曲げ理論, 丸棒のねじり, 多軸応力系, ひずみエネルギーとエネルギー原理, 構造材料の破損

## 弾性力学

週2時間 2単位

1. 2次元弾性論
2. ねじり理論
3. 平板の曲げ理論
4. 座屈理論
5. エネルギー原理

## 応用構造型論

週2時間 2単位

構造振動論 (梁・平板の振動, 構造減衰), カオス振動, 粘弾性理論, 非線形振動など

## 航空機力学第 1

週 2 時間 2 単位

多自由度系の振動, 弾性体の振動, 過度現象, ランダム現象, 回転機械振動, 自動振動

## 航空機力学第 2

週 2 時間 2 単位

飛行機の性能 (動的性能計算法を含む), 静安定性

## 飛行安定操縦性論

週 2 時間 2 単位

剛体の姿勢運動, 航空機の運動方程式, 安定微係数の推算, 飛行機の動安定性, 飛行性基準, 突風応答

## 線形制御系解析

週 2 時間 2 単位

数学的基礎, 古典制御の紹介, 現代制御問題の具体例, 状態変数の概念, 線形系の解析, 可制御性と可観測性の概念

## 線形制御系設計

週 2 時間 2 単位

レギュレータ, サーボ機構, プロセス制御, 制御要素

## 制御システム論

週 2 時間 2 単位

非線形制御系, デジタル信号処理, デジタル制御

## 航空学実験第 1 (テキストあり: 航空学教室発行)

週 3 時間 1 単位

円柱表面の圧力分布測定, 曲面に沿う二次元噴流の実験, 管内オリフィスの流量係数の測定, 燃料油蒸留試験, バーナー火炎の実験, ガスクロマトグラフによる火炎の測定, 丸棒の引張試験, 圧縮試験, 自田飛行試験, アナログ計算機の実験

## 航空学実験第 2 (テキストあり)

週 3 時間 1 単位

ラバールノズル流の測定, 三分力天秤の検定と翼の空力特性, 単筒機関の性能試験, 円柱形風向風速計の傾斜特性, 気体アトネーション伝播速度測定, 衝撃波管の実験, 梁の曲げ試験, 光弾性実験, 翼模型の振動試験, サーボモデルを用いた実験, オシロスコープを用いた周波数特性の測定

## 航空学実験第 3 (テキストあり)

週 3 時間 1 単位

シュリーレン法と超音速噴流の実験, 二次元ジェットの世界速度分布測定, 遠心ファンの性能試験, 二次元衝動タービン翼列実験, 電気推進 (アーク加熱, 磁気プラズマ力学方式) スラスタの実験, プラズマジェットとアブレーションの測定, 棒の座屈試験, 片持ち梁の振動試験, 翼模型フラッター試験, モデルプラントによる液面制御装置の設計, デジタル回路の実験

## 計画及び製図第 1

週 3 時間 1 単位

特性曲線法によるロケットノズルの設計，部分構造設計（原動機）

計画及び製図第2

週3時間 1単位

航空機胴体の製図，部分構造設計（機体），艤装系統図

特別研究

8単位

航空学序論

週2時間 2単位

1. 航空流体力学の基礎
2. 宇宙船の軌道についての基本的な考え方と数学（2体問題，座標変換，軌道要素，摂動）
3. 航空機の性能と運動の基礎，飛行機の安定性と制御の基礎理念

応用物理学第1

機械学科参照

応用物理学第2

機械学科参照

応用物理学実験

機械学科参照

応用原子核物理学概論

電気学科参照

システム工学

電気学科参照

統計力学

航空宇宙の流体力学，熱力学，推進，エンジン，材料学の基本になる概念が教えられる。詳しくは応用物理学参照

量子物理学第1

週2時間 2単位

気体力学，材料学に必要な原子分子の量子力学（並進，回転，振動，電子励起）と分光学。

〔テキスト〕“Molecular Physics of Equilibrium Gases,” by C. F. Hansen, NASA SP-3096, 1976.

量子物理学第2

週2時間 2単位

気体力学，材料学のための原子分子の量子力学，統計力学，熱力学関数の実際的計算法。

〔テキスト〕同上。

圧縮性流体力学

週2時間 2単位

圧縮性流体力学の基礎，亜音速流，遷音速流，超音速流，特性曲線理論，衝撃波，超音速線型理論，超音速流中の三次元翼，極超音速流

## ジェット機関理論

週2時間 2単位

航空機の推進特性，タービンエンジン要素の全体性能，ガスタービンの性能（基本サイクル，改良サイクル），航空用ガスタービン，ターボジェット，ターボファン，ターボプロップ，部分負荷特性（地上性能，高空性能の推測），新しい話題

## 計算流体力学序論

週2時間 2単位

差分法を用いた数値流体力学の理論（差分スキーム，安定性，誤差，陽解法，陰解法，格子形成），手法

〔テキスト〕「計算流体力学序論」藤原

## 軽量構造理論

週2時間 2単位

1. 薄肉構造の曲げ，り
2. せん断場理論
3. 航空宇宙飛行体構造概説

## 航空機力学第4

週2時間 2単位

空力弾性学の領域，空力静弾性学，非定常空気力学の基礎，Theodorsen の関数  $C(k)$ ，フラッタ現象等

## 最適制御論

週2時間 2単位

最適設計法，最適レギュレータ，カルマンフィルタ，最適誘導制御

## 航空流体力学

1単位

航空機・宇宙機の流体問題，乱流運動，実在気体の力学，数値流体力学，その他流体の諸問題

## 航空原動機設計

1単位

ジェットエンジンの発達，エンジン設計のプロセス，エンジンサイクルおよび性能計算，エンジン各種構造および各要素性能と構造概要，特殊材料

## ロケット工学

週2時間 1単位

宇宙船の電気推進。軌道の設計と新しい技術。ロケットの安定性。打上げと誘導制御。

## 航空宇宙材料学

週2時間 2単位

材料の強さ航空材料の選定，規格，航空機および宇宙飛行体用材料各論

## 航空機設計

週2時間 2単位

航空輸送の経済性，推進方式，空力性能計画，機体重量，機体形状，主要日推定，安定操縦性

## 自動操縦装置概論

2単位

ジャイロ，シンクロ，磁気増巾器と飽和リテクター，サーボ装置，Fluxgate および Fluxvalve，計器着陸装置

## 航空機工作

1単位

序論，加工法概論，Tooling，航空機工作法計画

## 航空機艦装

1単位

航空機における艦装の地位，計器整備，無線通信，航法装備，電気装備，油圧装備，空気予圧および調品装置，防水装置，防音装置，客室装置，自動操縦装置  
航空宇宙機の強度と剛性

1単位

航空機および宇宙飛行体の構造とその強度・剛性

## 航空学特別講義第1

1単位

## 航空学特別講義第2（宇宙工学システム設計）

1単位

ロケットや宇宙船のミッションと軌道，寸法，重量，段数などの設計を実際の日本の宇宙開発の現在と未来の実例に合わせて数える。

## 航空学特別講義第3（航空宇宙機検査法）

1単位

風洞試験の様々について実際的な方法を述べる。

## 航空学特別講義第4

1単位

## 航空学特別講義第5

1単位

## 航空学特別講義第6

1単位

## 航空学特別講義第7

1単位

## 航空学特別講義第8

1単位

## 航空学特別講義第9

1単位

## 航空学特別講義第10

1単位

## 工場管理

機械学科参照

工業経済

機械学科参照

工学概論第1

機械学科参照

工学概論第2

機械学科参照

工学概論第3

機械学科参照

工場見学

1単位

工場見学

1単位

## 応用物理学科

### 熱力学 B

週2時間 2単位

1. 状態量と状態方程式
2. 熱力学の第一法則
3. 第一法則の簡単な応用
4. 熱力学の第二法則
5. 熱平衡の条件と熱力学関数
6. 質量が変化する体系
7. 気体運動論

### 応用原子物理学第1

週2時間 2単位

1. 気体分子運動論
  - 1) 気体の法則
  - 2) 気体の圧力
  - 3) マクスウェルの速度分布則
  - 4) 分子の平均自由行程
  - 5) ブラウン運動
2. 熱放射と量子
  - 1) 黒体放射
  - 2) Stefan-Boltzmann の法則
  - 3) Wien の変位則